安全データシート

発行日： 2015/09/28
改訂日：

１．製品及び会社情報

製品名	i-STAT トロポニン コントロール液 レベル 1 (i-STAT cTnI Control Level 1) i-STAT トロポニン コントロール液 レベル 2 (i-STAT cTnI Control Level 2) i-STAT トロポニン コントロール液 レベル 3 (i-STAT cTnI Control Level 3)
製品コード	118380、118397、118403
会社名	扶桑薬品工業株式会社
住所	大阪市城東区森之宮二丁目３番１１号
担当部門	営業第四課
電話番号	06-6969-1131
緊急連絡先	営業第四課 06-6969-1131

２．危険有害性の要約

重要危険有害性

本製品にはヒト由来物質が含まれている。ヒト由来物質から製造された製品が感染伝播しないことを完全に保証する試験は知られていない。ゆえに、すべてのヒト由来物質は潜在的に感染性があると考えて、取り扱うこと。

内容物および容器は適切な方法で廃棄すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物

成分名（化学名又は一般名）	化学特性	CAS 番号	濃度 又は 濃度範囲	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
メタノール(Methanol)	CH3OH	67-56-1	0.3-0.5%	(2)-201
非公開	非公開	非公開	99.5-99.7%	非公開

４．応急措置

吸入した場合	暴露源から遠ざけること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	製品が付着した衣類をすべて脱ぐこと。付着した部位を洗剤及び水で洗浄すること。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	眼を開けた状態で、水で数分間注意深くすすぐこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。処置後に手を洗うこと。
飲み込んだ場合	水で口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。
医師に対する特別な注意事項	本製品にはヒト由来物質又は潜在的感染性物質が含まれている。使用方法の詳細については、製品の取扱説明書を参照のこと。ヒト由来物質又は不活化された微生物から製造された製品が感染伝播しないことを完全に保証する試験は知られていない。

５．火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、噴射水、または泡消火剤 注意：閉鎖された空間で二酸化炭素を使用する場合には、酸欠を引き起こす可能性があるため、注意すること。 規模の大きい火災の場合：この製品に関連する消火活動の方法を決める際、考慮すべき特有の化学物質や危険な反応性はない。環境に適した消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	データなし
消火を行う者の保護	規模の大きい火災の場合には、適切な耐熱、耐炎保護衣と呼吸保護装置を使用すること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	潜在的な感染性物質として取り扱うこと。 項目 8. に記載の適切な保護具を使用することにより、暴露を最小限にすること。
環境に対する注意事項	液体及び蒸気を排水管、土壌、または土壌水に浸入させないこと。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の漏出の場合はペーパータオル等で吸い取る。 大量の漏出の場合、吸収材で囲って流出を防止する。ペーパータオル、一般的な吸収材、砂、珪藻土、おがくずなどの液体吸収材で吸い取ること。 漏出したエリアを清掃すること。温水と合成洗剤または類似の洗剤が適切である。 適切な除染剤を使用すること。血液由来の感染性物質だけでなく、環境への漏出が懸念される微生物由来物質についても効果が期待できる除染剤を選択すること。結核菌に効果を発揮する除染剤は、一般的に既に存在が知られている全てのウイルス及び非胞子形成性細菌にも効果を発揮し、多くの病院環境にも適している。 **注**：市販の除染剤は製造元の取扱説明書に従って取り扱うこと。除染

剤は一般的に多くの化学物質、市販剤および生体組織と反応性を示す危険性のある化学物質である。除染剤を使用する前に、製造元の安全情報を入手し、よく読むこと。
汚染されたものの廃棄については項目 13.を参照すること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気・全体換気等） データなし

安全取扱注意事項 潜在的な感染性物質として取り扱うこと。

接触回避 データなし

保管

安全な保管条件 オリジナルの容器でのみ保管すること。
保管に関する追加情報は、添付文書または製品ラベルを参照すること。
熱と直射日光を避けること。

安全な容器包装材料 データなし

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策 情報なし

管理濃度 メタノール 200ppm

許容濃度

危険有害成分	日本産業衛生学会（2014 年版）	ACGIH（2009 年版）
メタノール	最大：200ppm (260mg/m^3)	時間加重平均（TWA）天井値　200ppm 短時間暴露許容濃度（STEL）　天井値　250ppm(Skin)

保護具

呼吸用保護具 通常の使用及び保管、または少量の飛沫(例 ペーパータオル等で十分吸い取ることができる量)の場合- よく換気されている室内では必要ない。
その他の異常事態 (例 大量の漏出)の場合 - 化学物質濃度が上述の暴露限界を超えているような場合には、適切な濾過式呼吸用保護具を使うこと。
有害物質の緊急事態又は消防活動の場合：適切な呼吸器の保護具を使用すること。化学物質濃度が上述の暴露限界を超えているような場合には、注意すること。

手の保護具 接触が予想される場合、不浸透性の保護手袋を着用すること。使用して汚染された手袋は適切に廃棄すること。

眼の保護具 安全眼鏡等を着用すること。液がはねる可能性がある場合、フルフェイスマスクまたはゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具 通常の使用：実験服か他の適切な保護服を着用し、衣服の汚染を防止

	すること。 大量の漏出(例 衣服に浸み込む量)の場合：防水性の保護衣を着用すること。
特別な注意事項	清潔な清掃状態を維持し、一般的な予防策に従うこと。 製品を使用する場所で、飲食を行わないこと。食べ物/飲み物を保管しないこと。休憩開始時および作業終了時には手を洗うこと。 潜在的な感染性物質を取り扱うための一般的な注意事項及び適切なバイオセーフティー対策に従うこと。

９．物理的及び化学的性質

外観	
形状	液体
色	黄褐色
臭い	刺激臭はない
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
自然発火温度 (発火点)	自然発火性なし
燃焼または爆発範囲の上限／下限	爆発の危険性なし。
蒸気圧	データなし
比重（相対密度）	データなし
溶解度	水に対して：混和性できない又は混和することが困難

１０．安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	仕様書通りの使用、保管であれば、分解しない。
危険有害反応可能性	危険有害反応性は報告されていない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は報告されていない。

１１．有害性情報

製品として

急性毒性	データなし
皮膚腐食性および皮膚刺激性	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	刺激性なし
呼吸器感作または皮膚感作性	感作性は報告されていない。

１２．環境影響情報

生態毒性	水生生物に対して有害性は報告されていない。
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

１３．廃棄上の注意

本製品は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

１４．輸送上の注意

国際規制

陸上	ADR (欧州危険物道路輸送協定)	該当しない
海上	IMDG (国際海上危険物規則)	該当しない
	海洋汚染物質	非該当
航空	IATA(国際航空運送協会危険物規則)	該当しない

国連分類 該当しない

国連番号 該当しない

１５．適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法５７条１、施行令第１８条）	メタノール(Methanol) (政令番号 36)
	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）	メタノール(Methanol) (政令番号 560)

１６．その他の情報

連絡先　お問い合わせの第一報は、営業第四課：06-6969-1131 まで。

その他　この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。
なお、含有量、物理/化学的性質、危険有害などの記載内容は、情報提供を目的とするものであり、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。
また、この安全データシートの内容について、特に混合物の場合には、成分の濃度等を考慮した上でご閲覧ください。